

# 平成29年度京都府ヘルスケア関連事業計画

提案内容

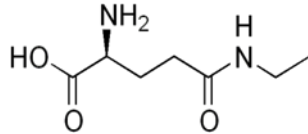
茶葉の未利用部分からの  
健康(抗ストレス)成分テアニンの抽出・製品化

京都府宇治市槇島町  
星野科学株式会社

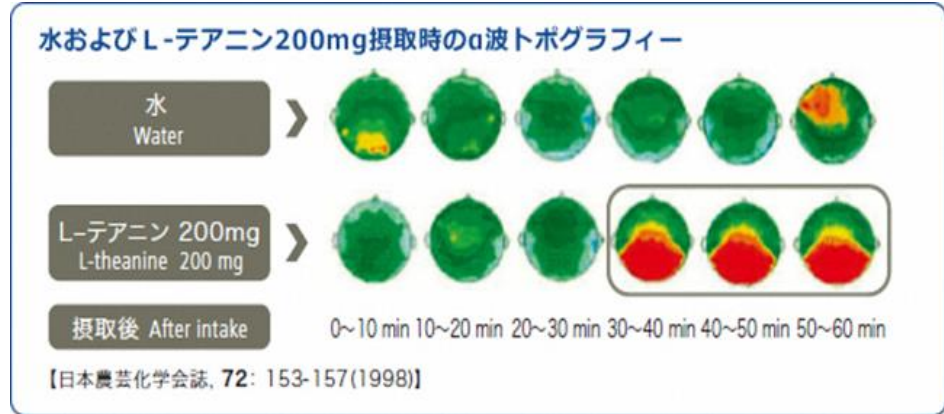
設立 1991年7月1日  
食品の開発と製造

# 事業計画の概要

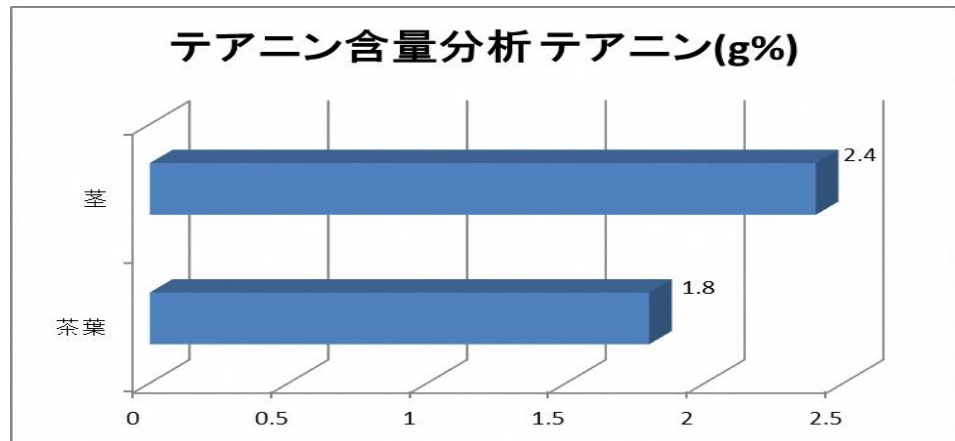
- お茶の成分テアニンのリラックス効果



ヒト脳波α波の発生: 小林ら、日農化(1998)



- 茶葉の葉より  
茎に、多く含まれる



- テアニン摂取はストレスの軽減による健康課題解決の具体策  
京都府「京の健康」によれば睡眠不足によりストレスが上がり、ストレス上がることで過度なアルコール摂取量につながる。特に高齢世代では半数近くはストレス状態である

# 計画の実現性

原料生産者の丸久小山園と星野科学は数々の抹茶製品の開発・販売の提携実績がある。

## (株)丸久小山園

- ・ 抹茶製造工程で発生する未利用資源である「茶葉の軸」の提供
- ・ 抹茶加工品への応用開発

## 星野科学(株)

- ・ 食品原料の製造（成分分析、テアニン抽出、カフェイン除去）

## 飲料メーカー等

- ・ テアニン豊富で低カフェインな宇治茶ブランドの販売、普及



# 計画の独自性・先進性

## 独自性

他社の発酵法によるテアニン健康食品素材と異なり、当社のテアニンは、茶葉の軸から直接抽出するため濃度も濃く、本来のお茶の有効成分(カリウムやアミノ酸類、カテキン類など)も活かし、飲料だけでなく茶菓子などの嗜好品・土産品など幅広く商品開発ができる。

## 先進性

カフェインの覚醒作用はテアニンの効果を妨げるが、当社開発の特許出願(特願2014-2211875)の脱カフェイン技術で、カフェインを90%以上除去することができるため、テアニンの効果を十分に発揮できる。

# 計画の将来的発展性

飲料項目	2015年
果実・野菜系飲料	4,800億円
炭酸飲料	5,522億円
乳性飲料	1兆1,370億円
コーヒー飲料	8,639億円
茶系飲料	9,751億円
ミネラルウォーター類	3,437億円
機能性飲料	5,694億円
その他飲料	1,063億円
合計	5兆0,276億円

茶系飲料  
の市場規模  
の増加

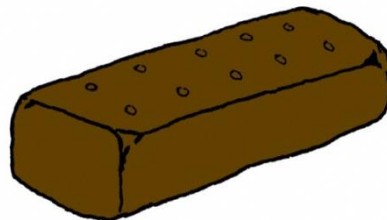
将来の商  
品開発の  
可能性



テアニンが  
既茶葉飲料の  
**約10倍**

**カフェインレス**  
海外市場展開

## 当社のその他食品への添加利用



- ① ダイエットクッキー
- ② 宇治茶ブランドの土産品

# 事業計画の公益性

ストレス解消  
リラックス効果  
よりよい睡眠

テアニン



カフェイン除去

茶の有効成分

カテキン  
アスパラギン酸  
カリウム

- 全年代の健康長寿、未病改善
- お茶産業の多様化